

1 実演芸術連携交流事業の趣旨 3

2 事業実施の概要 4

① 国内専門家フェローシップ制度	
公募、募集条件	5
応募数と選考	6
研修先のマッチング	7
研修実施結果の報告	7

② 実演芸術連携フォーラム	
事業趣旨	10
第8回実演芸術連携フォーラム 実施概要	10
[レポート]	
基調講演	12
第1部 「人材交流が描く未来図～国内専門家フェローシップ研修報告から」	15
第2部 「新たな観客創出にむけた取り組みの広がり」	26
第9回実演芸術連携フォーラム 実施概要	38
[レポート]	
第1部 「人材交流が描く未来図～国内専門家フェローシップ研修報告から」	39
第2部 「市民と芸術をつなぐ担い手として～劇場とアーティストの協働の事例から」	43

③ 実演芸術国際シンポジウム	
事業趣旨	54
実施概要	54
[レポート]	
第1部 「音楽祭を語る」	58
第2部 「演劇祭を語る」	66
総括	78

3 事業を実施しての成果と課題 80

資料編

●平成30年度国内専門家フェローシップ制度 募集案内	85
●平成30年度国内専門家フェローシップ制度 申込書	89
●平成31年度国内専門家フェローシップ制度 募集案内	94
●平成31年度国内専門家フェローシップ制度 申込書	98
●第8回実演芸術連携フォーラム リーフレット	103
●第9回実演芸術連携フォーラム リーフレット	104
●実演芸術国際シンポジウム リーフレット	105
●実演芸術国際シンポジウム 当日パンフレット	106

1 実演芸術連携交流事業の趣旨

本事業は、国内外のプロデューサー、アートマネジメント人材、舞台スタッフ、実演家等の人的交流の促進を通じて、芸術文化を支えるグローバル人材の育成と、芸術文化の国内外への発信力の強化を図り、我が国の実演芸術の一層の振興に資することを目的として、平成27（2015）年度から文化庁が新たに開始したものです。

多様、多彩な実演芸術を創造し、あらゆる人々が享受できる環境を整備するとともに、国際的な発信、交流を推進するためには、実演芸術に携わる専門人材が不可欠です。芸術団体、劇場、音楽堂等、ならびにその担い手が連携し、実演芸術に携わる専門人材を育成する仕組みづくりが必要です。

本事業では、**国内専門家フェローシップ制度**、**実演芸術連携フォーラム**、**実演芸術国際シンポジウム**の三つの取組を通して、専門人材の育成と増強、専門家同士の交流を通じた共通基盤とネットワークの形成をねらいます。

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を前に、全国各地を巻き込んだ文化事業の展開に向けた動きが、劇場・音楽堂および芸術団体から出てきています。これを実現させ、かつその実績を2020年以降もレガシーとして引き継ぐためにも、実演芸術の担い手である人材の育成と強化は、一層重要視されています。

専門人材の能力向上には、豊富な経験と幅広いネットワークの構築が重要であり、このためには現職の職場だけに留まらない新たな学びの場、人的交流が必要です。

本事業では、短期間の研修では習得しがたい経験、知識、技術、人脈が得られるよう、**国内専門家フェローシップ制度**として、中長期にわたる実務研修を可能にする仕組みを作り出しました。

また、ジャンルや職域を超えた横断的なネットワークの構築を目指して、**実演芸術連携フォーラム**、**実演芸術国際シンポジウム**を継続的に実施しています。実演芸術を取り巻く環境や、取組の事例、そして課題を共有する場をもうけることで、国内外の専門人材同士の交流を促し、新たな事業展開へつなげることをねらいます。

とりわけ日本には、多様で多彩な実演芸術が存在します。各ジャンル、各地域に蓄積されてきた情報やネットワークを、横断的に、実演芸術の分野全体の財産として共有することができたならば、それは強固な文化芸術振興の基盤になるのではないのでしょうか。

実演芸術分野全体を捉える視野を広げるとともに、中核的存在となる専門人材を各地に創出することにもつながるでしょう。

なお、このような事業が開始された背景の一つには、平成24（2012）年6月に「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」が施行されたことがあります。この法律で、芸術団体、劇場、音楽堂等の相互連携と、専門人材の必要性が言及されており、これらを実現するために必要な基盤形成を促すことは国、自治体の責務であるといえます。

そして、平成29（2017）年6月に施行された「文化芸術基本法」に、基本理念として新たに加えられた「年齢、障害の有無、経済的な状況又は居住する地域にかかわらず等しく、文化芸術を鑑賞し、これに参加し、又はこれを創造することができるような環境の整備」は、本事業を通して実現すべき大目的といえます。